

## チャバネアオカメムシの越冬状況（平成 29 年 2 月調査）

ナシ、カキ、リンゴなどの重要害虫であるチャバネアオカメムシの越冬数についての調査結果をお知らせします。

本年 2 月上旬に山林の表層土を含んだ落葉を 1 地点当たり 30 リットル採取し、チャバネアオカメムシ成虫の越冬数を調査しました。調査は常陸太田市、笠間市、水戸市、小美玉市、銚田市、行方市、石岡市、つくば市、桜川市の合計 42 地点で行いました。

その結果、越冬成虫数は平年よりやや少なく（本年値 0.2 頭、平年値 2.3 頭）、越冬地点率は平年並～やや低く（本年値 19%、平年値 41%）になりました（表）。なお、本年を含む過去 6 年間の越冬状況の推移を見ると、越冬成虫数・越冬地点率ともに多い年と少ない年を交互に繰り返しており、本年は少ない年にあたります（図）。

そのため、越冬世代成虫（4～7 月）の果樹園への飛来数は、平年よりやや少ないと予測されます。

表 チャバネアオカメムシの越冬状況（平成 29 年 2 月）

調査項目	本年値	平年値	順位※2
越冬成虫数(頭)※1	0.2	2.3	9 位
越冬地点率(%)	19	41	7 位

※1 成虫数/落葉 30 リットル

※2 本年を含む過去 11 年中の順位

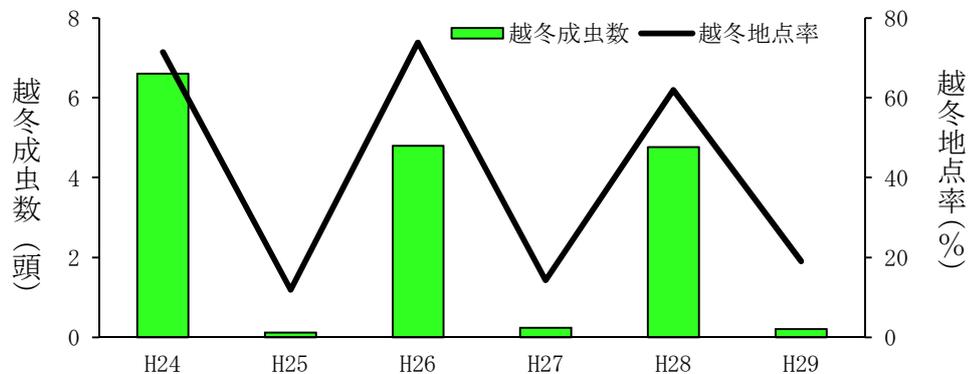


図 チャバネアオカメムシの越冬成虫数および越冬地点率の年次変動

病虫害防除所では、果樹カメムシ類について予察灯調査（4～10 月）、サクラにおける発生量調査（5～6 月）を行うので、今後発表する情報に注意してください。